

平成25年度 決算状況

町の家計簿

25年度 歳入 37億6797万円

24年度 歳入 35億7039万円

使用料及び手数料等 2億1632万円(5.8%)

保育料や町施設使用料、証明手数料など

諸収入 1億1421万円(3.0%)

貸付金の元利収入など

繰入金 1億5,375万円(4.1%)

基金の取り崩しや特別会計からの収入

町税 6億17万円(15.9%)

みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税など

地方譲与税・交付金等 1億643万円(2.8%)

税源移譲及び重量税・軽油税などを財源として地方に譲与されたお金

国県支出金 3億7568万円(10.0%)

特定の目的のために国や県から交付されたお金

町債 2億6000万円(6.9%)

町の借金のこと。大規模な事業を行うため、国などから借り入れたお金

地方交付税 19億4141万円(51.5%)

町が標準的な仕事をする際に、不足する財源を町の財政状況に応じて国から交付されたお金

自主財源

28.8%

使用料及び手数料等
2億2200万円
(6.3%)

諸収入
1億1268万円
(3.2%)

繰入金
5516万円
(1.5%)

町税
6億758万円
(17.0%)

地方譲与税・交付金等
1億692万円
(3.0%)

国県支出金
3億2890万円
(9.2%)

町債
2億70万円
(5.6%)

依存財源

71.2%

地方交付税
19億3645万円
(54.2%)

町税の内訳

税目	決算額
固定資産税	3億8415万円
町民税	1億8531万円
市町村たばこ税	1562万円
その他	1509万円
軽自動車税	1053万円
入湯税	456万円
合計	6億17万円

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計	5億2638万円	4億7318万円
簡易水道事業特別会計	1億8758万円	1億8308万円
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	4852万円	4648万円
下水道事業特別会計	6779万円	6653万円
農業集落排水事業特別会計	6879万円	6574万円
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	9832万円	9252万円
後期高齢者医療特別会計	7334万円	7154万円
合計	10億7072万円	9億9907万円

特別会計は7会計で、歳入の合計が10億7072万円、歳出の合計が9億9907万円でした。

主な事業は、浄化槽市町村整備推進事業特別会計で木曾川右岸地区及び三留野地区の浄化槽設置事業を引き続き実施しています。

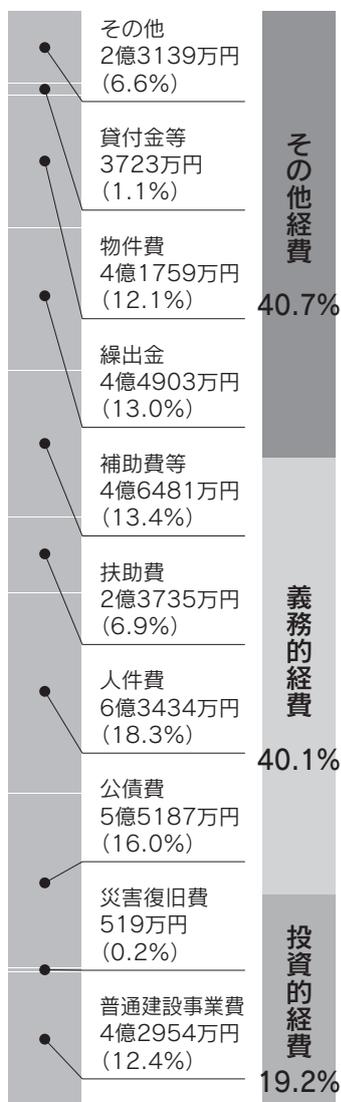
特別会計

事業、本谷橋他の橋梁補強事業、柿其溪谷遊歩道整備事業、読書保育園園舎耐震改修事業などを行いました。

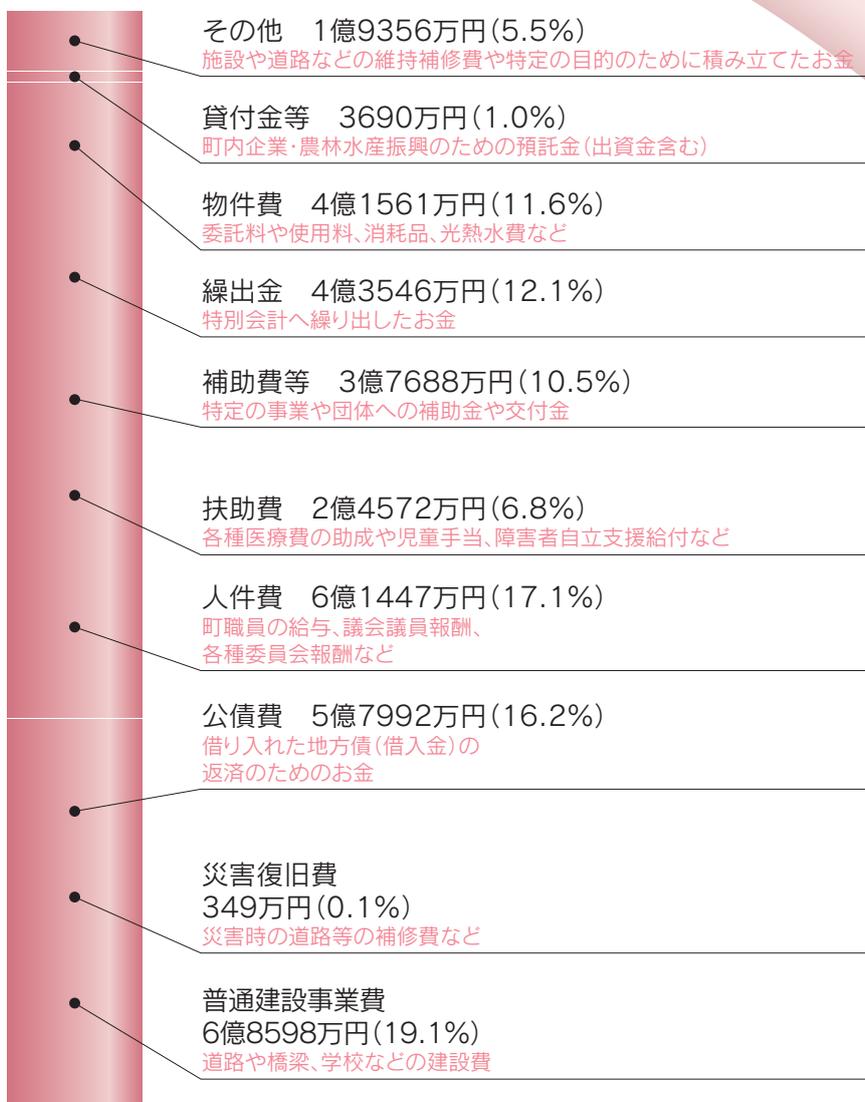
平成25年度の南木曾町一般会計（平成24年度繰越分を含む）・特別会計の決算が、9月の定例議会において認定されました。一般会計の決算総額は、歳入37億6797万円（前年度比5.5%増）、歳出35億8799万円（3.7%増）で差引き1億7998万円となりました。

差引額から繰越事業に係る財源を除いた実質収支は7308万円となり、このうち4000万円を決算積立金として財政調整基金へ積み立てました。この結果、3308万円が26年度への純繰越金となります。

24年度 歳出 34億5834万円



25年度 歳出 35億8799万円



主な事業

平成25年度は、過疎対策事業で町道大原線他の改良

が2億5644万円の増となりました。

歳出

歳出については、木曾広域連合に対する負担金の減など

により補助費等が8793万円の減、子育て基金への積み立ての減などによりその他の支出が3783万円の減となりました。また、繰上償還の実施により公債費は2805万円の増、読書保育園舎耐震改修事業などにより普通建設事業費が2億5644万円の増となりました。

歳入

一般会計の歳入の内、もっとも大きな比率を占める地方

交付税は、特別交付税の増などにより496万円の増となりました。町税は、法人住民税の減収などにより741万円の減となりました。国県支出金は、国の経済対策による交付金の増などにより4678万円の増となりました。

一般会計